

かわむら **こども** クリニック NEWS

Volume 27 No 11

315号

令和 1年11月 7日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255

HOME PAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

白百合女子大 白百合祭

院長

おやっと思うテーマかもしれません。待合室のポスターで知っていると思いますが、10月26日に仙台白百合女子大 白百合祭で講演行って来ました。

どうして講演が回ってきたのかを少し説明しましょう。東北大学医学部卒の医師が、白百合女子大教授に就任しました。白百合祭を前にして、医学部の同級生数人に講演を依頼しました。依頼された先生方は全て辞退したのですが、その中の一人が私を推薦したことから始まりました。その医師は小児科医で日立総合病院で同じ釜の飯を食った仲間で、仙台に戻ってきてから「若手医会」なるものを立ち上げて、勉強、遊びと深い関係を築いてきました。さらに2015年日本外来小児科学会年次集会を会頭として仙台で開催した時、事務局局長として年次集会を支えてくれました。彼が「私は喋るのが苦手だけど、川村先生ならきっと受けてくれるはず…」と言ってしまったのです。長いお付き合いもある腐れ縁みたいなもので、「義を見て為さざるは、勇無きなり」を思い出し、止む無く受けることにしました。

人生を振り返ってみると、総理大臣官邸での大臣表彰・仙台市医師会学術奨励賞・日本外来小児科学会年次集会会頭・文科省推薦学校医大会発表・ワクチンWebセミナー代表世話人・テレビ出演…、幸いなことに多くの人たちに支えられて様々な仕事をさせていただきました。医療従事者や教職員を対象とする講演会も多く担当しましたが、当然のことながら女子大、それも学園祭での講演会は初めてです。初めての経験という以外に、女子大という甘美とも言える言葉の響き(失礼)に誘われた不純な動機も引き受けた理由です。講演終了後、女子大生に囲まれサイン攻めに合うという妄想も後押ししてくれました。もちろん仲介の小児科医が困ることが、一番の理由であることは付け加えておきます。

ある意味深く考えもせず、勢いで受けてしまった感もあるので、受けてからが一苦勞でした。テーマを「小児科医だからこそ伝えられる命と病気のお話～感染症・ワクチン・性教育・虐待…、そしてAdvocacy～」と決めたものの、「小児科医が白百合祭で何話すの?」「命と病気のお話、なんか子どもっぽい?」「感染症・ワクチン、なんか難しそう?」「性教育なんてとっくに卒業

してるけど?」などと言われそう
で、通常の講演会と比べて何倍も
の労力が必要だったのは言うま
でもありません。さて内容を欲張
りすぎて、スライドは170枚を超
え、聴衆にインパクトを与えるた
めのアニメーション、さらには5
つの動画を盛り込んだ結果ファ
イル容量は何と1.67GBにもな
ってしまいました。



内容について紹介しましょう。小学校4年生の性教育を長年担当した経験から、聴衆の耳目を集めるためにクイズ形式から入ることにしました。「小児科医が白百合祭で何話すの?」などを示した後、「病気と命のお話。その裏にあるものは愛。みんなで考えてみよう」から始まりました。その後、感染症として麻疹・風疹、さらには先天性風疹症候群。最初にガツンとインパクトを与えるため東日本放送特集「感染拡大続く風しん・はしかの注意点」を供覧しました。感染症を防ぐためのワクチンの重要性。そして同時接種などのワクチンの話、視聴数55万を超えるYouTube動画「ワクチン同時接種」、ワクチンWeb講演会「乳児におけるワクチン同時接種の実際」も自慢げに紹介。感染症治療における抗菌薬と薬剤耐性。4年生性教育の取り組み、日齢4死亡新生児搬入「悲しい出来事」を通しての命の大切さと親子のコミュニケーションと虐待。子宮頸がん予防ワクチンと検診の重要性。YouTube動画「子宮頸がん予防ワクチン接種」(視聴数35万超)を紹介。KissとSexクイズ、性感染症予防と避妊。デートDVの考え方。Advocacyの意味と子育て支援活動紹介。「母親という生き物」(CLINIC NEWS2017年5月号)と真実の愛の意味。最後は総理大臣官邸での大臣表彰の自慢話とともに、ロールモデルの重要性を伝えて、講演は終了しました。スライドの合間には、安倍総理、小泉進次郎議員、郡市長とのツーショットを目立たないように織り交ぜました。

講演直前に10分短縮と言われ少し焦ったのですが、何とか無事講演を終えることができました。かなり駆け足になってしまっていて自分としては不満足でしたが、白百合女子大の宮城県小児保健協会理事から「来年の小児保健セミナーの講演は決まりましたね」と言われて、ホッと胸をなでおろしました。

おまけをひとつ。スタッフは全員自発的に聴講に来てくれました。しっかり写真を撮ってくれ、ビデオも撮影してくれました。こんな院長の気持ちを察してくれる素晴らしいスタッフに感謝です。

残念ながら講演終了後女子大生に囲まれてのサイン攻めはありませんでしたが、とても満足できた講演会でした。これでまたひとつ人生で自慢できる出来事になりました。講演では多くの方に支えられました。ありがとうございました。

11月のお知らせ

- ・臨時休診のお知らせ
8(金)～9日(土)「十四大都市医師会連絡協議会」(北九州)のため休診となります。
- ・栄養育児相談
6・20日(水) 13:30～
栄養士担当

読者の広場

先月は4通のメールをいただきました。最近メールが少なく寂しい気がします。FaceBookへの誕生日のメッセージはたくさんいただいたので心配はしていませんが。

宮城野区の遠〇さんからいただいたメールです。

「おはようございます。大変御無沙汰しておりますが、先生はじめ院内の皆様、御元気でしていつもお世話になっております。遠〇〇〇の母です。今回は私の相談ではなく、私の姉になるのですが...。子供の体調の事で悩み、不寝に過ごしています。今日電話があり、かわむら先生に話を聞いてもらいたいといわれました。姉の子は3歳になります。急ぎではないのですが、不寝から、今週中に受診したいとの事で、木曜日に丁度、〇〇の風邪薬を貰いに行く予定でしたので、姉も電車を乗り継ぎ私と一緒に受診しに来るそうです。初診で診てもらえるか心配もありながら、かわむら先生にアドバイスもらえたら、とのことでした。よろしくおねがい致します。」

その後お姉さんと一緒に受診し、じっくり話を聞いて帰りました。後日こんなメールが舞い込みました。

「かわむら先生、本日はお忙しいなか親身に相談のついでいただき、本当にありがとうございました。姉もスッキリした様子で帰って行きました。私自身も話を聞かせていただき、なるほどな、と勉強になりました。つつい母親は本能なのでしょうか、子供にとって辛い思いをさせたことを考え過ぎてしまいます。なので先生の話には、いつもハッとさせられるのです。今回のアレルギーの件もそおでした。「チャレンジして見なよ！それで様子見てごらんよ。最初は30分、徐々に長くしてみたら？」つとの提案は私たちの中にはありませんでした。極端な話をしますが、義実家に行くが、行かないかの対処しがないのかな？と悩んで居た姉にとって、とても嬉しいアドバイスだったとおもいます。子供が辛い思いをさせたくないばかりに、早く原因を知りたいがたり、悪いてあろう物は排除しようしたり、極端な考えだったと思います。私も姉も、これからの育児の価値観が変わるくらい、良い話を聞けたと思っています。姉も気が楽になり、旦那さんとも仲直り出来たそうです...。笑。今まで通り旦那さんの実家にも様子をみながら沢山遊びに行くぞおです。本当にありがとうございました！」

このやり取りで重要なのは、「母親は本能なのでしょうか、子供にとって辛い思いをさせたことを考え過ぎてしまいます」です。白百合祭講演でも「母親という生き物」について話しました。これも講演内容ですが、「坂の途中の家」(角田光代)に出てくる“愛してるから間違ってしまう。愛してるから絶望する”も同じです。母親だから悪いことばかり探してしまうのです。こうやってアドバイスをもらって解決していく。これが患者さんとクリニックの関係で、院長が求めている姿です。羨ましいでしょう♪(ε`)



42歳 芸術祭 医家

水墨画・陶工芸
絵画・写真・書

音楽部門
入場無料

主催/一般社団法人 仙台市医師会
tel: 022-272-1331
後援/日本小児科医会東北支部、JCOM 仙台エフ

院長も写真4点出展
見に来てね(^-^)/

新しい事務スタッフの紹介：よろしくお祈いします

10月からお世話になることになりました新人事務の吉川紫乃です！医療事務の資格と子供が好きということを活かしたいと思い、かわむらこどもクリニックに入りました。まだ入ったばかりで、バタバタしてご迷惑をおかけしてしまうことがあると思いますが、温かい目で見守っていただくと嬉しいです。優しい先生をはじめ、頼りがいのある看護師さんと先輩事務さんに支えられながら精一杯頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお祈いします ^_^

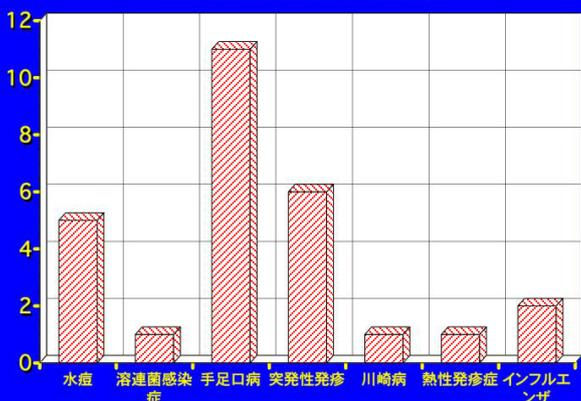
緊急風しん抗体検査事業・第5期風しん定期予防接種 (2019年3月15日開始)

対象者は、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性(概ね39~57才)

風しん抗体価陰性を証明できる方。他の方は抗体検査により風しん抗体が不十分な方が定期予防接種の対象となります。抗体検査・予防接種費用は無料で、成人であっても当院で実施可能です。(平成34年3月末日まで)

パートナーだけでなく、周りにいる男性を誘って、社会を守るために検査と予防接種を受けてもらいましょう！！

10月の感染症の集計



一旦減少していた手足口病が再び増加しました。ワクチンの影響で幼児期の水痘は減少していますが、小学生を中心に水痘が見られています。他に流行している感染症はありません。8~9月かけてインフルエンザの集団発生がありましたが、その後は影を潜めています。早期の流行拡大を心配していましたが、現在のところは流行はありません。これから流行の季節になります。マスクと手洗いによる予防を心がけましょう。

Mail News, Facebook の紹介

Mail News は800人を越えるお母さんが登録し利用しています。件名を「登録希望」とし、登録者の名前とお子さんの名前を記載し送信してください。下のQRコードから是非登録をお願いします。

その他の情報発信としてFacebookページ、YouTubeにも取り組んでいます。最新情報はFBをどうぞ。Mail Newsが、かなり戻ってきます。届かない場合はkodomo-clinic.or.jpをドメイン指定して下さい。不明な点は受付まで問い合わせ下さい。



MailNews



Facebook

編集後記

今月号も発行が遅れてしまいました。先月号のスケジュールを数えてみたら、20回以上のイベントがあり、家で夕食が取れたのは5回ぐらいです。小児科医会や医師会の会議はもちろんのこと、女子学園祭講演、九州での発表の準備、依頼原稿など次々と仕事が入り猫の手を借りたいぐらいです。でも猫の手は痒いところをかくぐらいしか役に立ちませんが?でも、痒いところに手が届かないかもしれません(笑)



K's clinic

麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『1才のお誕生日に麻しん風しん混合ワクチンを』『お母さんクラブ』現在会員を募集中です。参加希望は受付まで。！！